

病院広報誌

わ げ ん あ い ご
和顔愛語



医療法人 真生会

真生会富山病院

SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL

2016
vol,21

主な内容

- 新人研修「フレッシュセミナー」開催
- 内視鏡検査で癌^{がん}の早期発見を
- あなたはかかりつけの医師がいますか？ほか



新任医師の紹介

- ①出身地
- ②仕事の中で大切にしていること
- ③夢、または目標



研修医 たかぎ ひでまさ
高木 英昌

- ①群馬県
- ②相手が話しやすいように、できるだけ落ち着いた雰囲気にいること。
- ③身体も診られる心療内科医を目指します。



研修医 はべ たかひろ
波部 孝弘

- ①大阪府
- ②元々、人の役に立つ仕事をしたいと思い研究職を志していましたが、直接、人と接することのできる仕事、相手の喜ばれる姿を見ることが出来る仕事に就きたいと思い医師の道を進みました。この原点をこれからも大切にしたいと思います。
- ③全身をトータルに診ることのできる内科医を目指します。



グループワークで話し合った内容を発表（参加者）



病院理念の講義（真鍋院長）



医療現場における援助（「キユア」と「ケア」）の講義（緩和ケア内科 長久副科長）



患者さんに接するときの心・技・体はどうあるべきかを講義（PTS 推進室※ 山田主任）

理念

仏法に説かれている自利利他の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

基本方針

- ・患者本位の医療を実践します。
- ・24時間救急診療体制をとり、住民の皆様の健康と生命を尊重する病院組織を築きます。
- ・各科の特徴を活かし、安全で良質な医療を提供できるよう努めます。
- ・在宅療養を、全科往診、チーム医療で支援します。
- ・患者の皆様と共に笑顔のあふれる病院を目指します。

職員信条

- ・真生会職員は、苦しみを除き、幸せを与える抜苦与楽を目的といたします。
- ・真生会職員は、正確に迅速に確認第一を心がけ日々医療サービスの向上に努力いたします。
- ・真生会職員は、苦しい時こそ和顔愛語に努めます。
- ・真生会職員は、和することをもって尊しとします。

新人研修

フレッシュセミナー開催

真生会職員の基礎を学ぶ

毎年春、新人職員を対象に2日間の研修「フレッシュセミナー」を開催しています。この研修には、医師、看護師、診療助手、医療ソーシャルワーカー、医事課職員などが職種を問わず新人職員全員が参加しています。

運営スタッフから一言

理念にある自利利他の精神が心に残りました。患者さんの思いに寄り添う看護をしていかなければと再認識しました（看護師）、「優しい笑顔を忘れずに患者さんと接したいです」（診療助手）などの感想が寄せられました。

年齢、経歴、職種の異なる職員28名が、2日間の講義やグループワークを通して、「理念にある自利利他の精神に基づいた医療を実践できる職員になりたい」と心一つにした時の感動は忘れられません。私自身も、医療従事者に求められることができることは何か、初心に返る仲間として、これから共にがんばりたいと思います。



きたむら ありさ
北村 有紗
(PTS 推進室 室長代行)

※ PTS 推進室とは…PTSとは「patient satisfaction＝患者さんの安心・満足」という意味です。PTS 推進室のスタッフ（フロアマネジャー）は、患者の皆様が安心して受診され、満足して帰られるよう、受付の案内や、各種相談への対応など、さまざまなサポートを行っています。

内視鏡検査で癌の早期発見を

消化器・内視鏡担当部長

真野 鋭志

「胃カメラは怖い」、「以前受けた胃カメラが辛かったから二度と受けたくない」。そんな気持ちから検査や受診を先延ばしにしてしまい、癌で亡くなる方が後を絶ちません。

20年以上前、故中野院長は、楽に受けられる内視鏡検査でなければこの悲劇は繰り返されると痛感し、鎮静剤注射による苦痛の少ない検査法を導入しました。当時はまだ使用する施設が少なく、内視

鏡の腕が悪いから辛いのであり薬剤を使うのは邪道、という風潮でした。しかしどんなに熟練した内視鏡医が行っても、のどが敏感な人は辛いのが事実です。

以来、安全かつ苦痛のない内視鏡検査を目指して、当院内視鏡室は努力してまいりました。その結果、「こんなに楽なら早く受けておればよかった」と多くの人に喜ばれるようになりました。

ただ、検査後に車の運転をしなればならない方、持病をお持ちの高齢者の方などは、鎮静剤を使うことができません。そんな方のために、細径スコープによる経鼻内視鏡検査も行っています。のどの壁に当たらずにまっすぐ食道に入るので、比較的楽に検査を受けることができます。鼻は苦手だという方には、細径スコープを口から入れる方法もあります。

また、訓練された内視鏡技師による、ていねいな事前説明、検査中の肩や背中へのタッチング、声かけで、苦痛は大きく軽減されます。

癌も早期に発見できれば、それで命を落とすことはありません。検査を躊躇している方は、これを機会にぜひお受けください。

医師紹介



真野 鋭志

信州大学卒業。富山大学第三内科を経て、平成5年より当院で勤務。

【専門・得意分野】
消化器一般、肝臓、臨床栄養学、便秘



当院では年間3,500件以上の胃内視鏡検査を行っています。写真は河相寛医師。

◆内視鏡検査を受けるには

症状のある方は、まずは消化器内科、もしくは内科を受診してください。診察時に内視鏡検査の予約をお取りします。

特に症状がなければ、健診センターで申し込みができます。

中国との医療交流



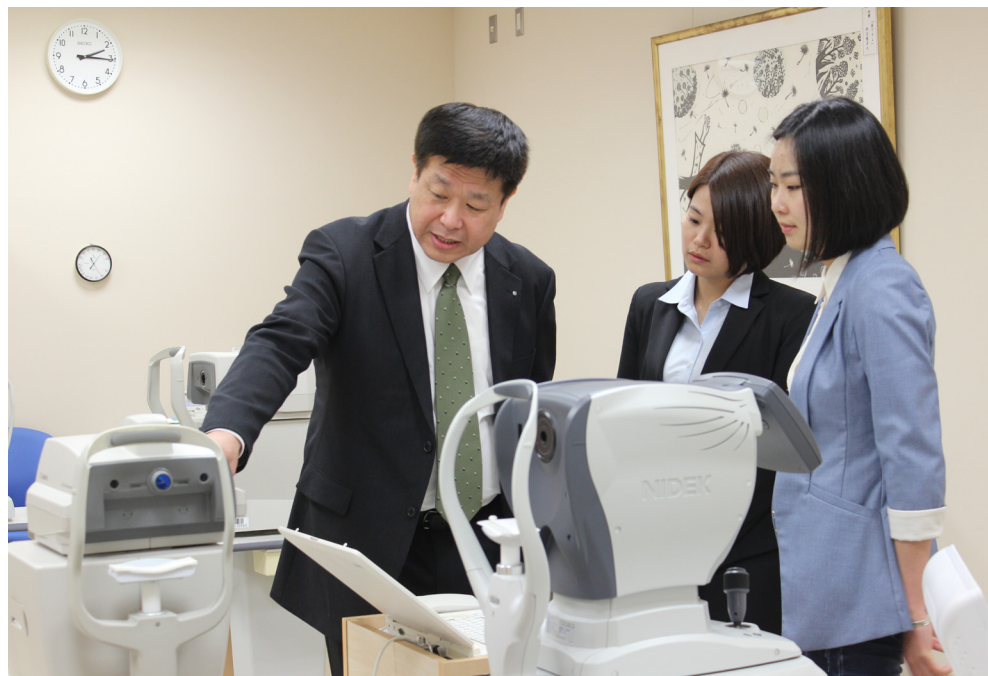
谷 照斌

教授

(大連医科大学)

来日

葉医師、李看護師とともに



アイセンターの見学をする谷教授（左）、葉医師、（右）、李看護師（中央）

1月27日（水）、大連医科大学松江路眼科センターの谷照斌教授が約一年ぶりに真生会を訪れました。今回は、葉雲燕医師（眼科医）と李住男看護師（手術室勤務）も同行し、当院アイセンターを見学。北日本新聞の取材も受けられ、28日（木）の朝刊に掲載されました。

当院は平成26年11月に大連医科大学との医療技術交流をスタート。館奈保子アイセンター長は客員教授に任命されました。翌年4月には同じ遼寧省の瀋陽市第四人民医院とも提携しました。客員教授任命後、館センター長は中国にて3度の手術、また講演活動（※下の写真）を行うなど、医療交流が活発になっています。

葉医師も李看護師も今回が初めての来日でした。中国では眼科の医師になりたい人が多いとのこと。葉医師は、「多くの人は一番最初に眼を通して世界を知りたいと思います。眼科の仕事に誇りを持っています」と語り、李看護師は「アイセンターで手術前の検査の流れがどのようなものか、中国との違いを見たい」と意欲的でした。館センター長は、「今回は一日の滞在ですが、今後、もっと長く勉強に來られたら良いですね」と話していました。



瀋陽市で最も歴史のある書店「中華書店」で講演が実現しました。写真右が館センター長、左は書店の責任者の方です。



北日本新聞取材中の一コマ

あなたはかかりつけの医師がいますか？ ～患者さんからのメッセージ～

「人口高齢化」、「長寿社会」と言われる現代。患者の増加に伴い医療現場は先進医療、スピード化が当然のごとく行われています。しかし、医療を受ける側と提供する側がどう向き合っているのか、患者さんの思いはどうなっているのか。

2月中旬、思いがけず、わかば病棟に入院されていた宮腰由紀夫さん（射水市在住）との出会いがありました。「文章を書いたり、発表したりするのが好きなんです」と、入院生活を通して感じることに、いま元気な方に聞いてもらいたいことなど、お話しくださいました。

Q、現在の医療制度に対して、ご意見をもちなんですね。

A、近所のクリニックを受診して検査もしたが、異常なし。安心できず「紹介状を書いてください」と大きな病院で受診を希望する人があります。「建物が大きく、最新の医療機器や経験豊富な医師が

揃っている病院で診てもらえば、病気が治るはず」と強く思うのでしよう。しかし、大病院を受診する際に特別な費用がかかる制度（大病院を紹介状なしに受診すると、特別な費用がかかること）は、重症患者にスムーズに対応するためと聞きます。すると、「とりあえず大病院で診てもらおう」と考えるのは、患者にとっても病院にとっても、マイナスになりかねない。健康を守るには、元気なうちからかかりつけの医師を決めておくことが大切だと、自分が病気になると思うようになりました。

健康だった私が、糖尿病に

今から10年以上経ちますが、体がだるく、喉が渇くという症状が出て、友人に話をしたら、「お前糖尿病じゃないか？」とすぐ心配されたんです。そのときは職場から近い病院へ行ったんですが、そこで糖尿病の診断を受けました。

実は私の兄も糖尿病で、闘病の末、亡くなっています。患者になって初めて、病気というのは自分自身と真正面に向き合わなければ治せないものだと知らされました。人生を振り返るきっかけにもなりました。そして、病気になったときに診てもらえる病院、先生の存在がいかに大事か、知らされたのです。

かかりつけの医師を持ち、日頃から健康チェックをしておけば、検査データが蓄積されます。万が一、治りにくい病気になっても、自分の身体のことがよく分かっている先生だからこそ、正しい診断をしてもらえる。そして、この病院で治療できるのか、治療できる病院を紹介してもらわなければならぬのか、自分で選択できます。元気なうちから自分の命と向き合うことが大事だと感じています。

真生会との出会い

Q、当院のことは、いつからご存

なければ治りませんよ」と言われましたので、こちらで入院・手術をすることになったのです。

病院が提供する患者さんへの安心・満足とは

私はお客様に対応する仕事をしており、自分たちで最高の満足度を提供するため「気づきメモ」というものを利用しています。相手に喜ばれたこと、こんなシステムを入れたらよいのではないかと、という気づきを毎日書くのです。いつも「お客さんが考える以上の満足を提供するにはどうすればいいか」ということを考えています。真生会に入院して感じたのは、先生や看護師さんが親切で細かいところに気づいてくれることです。患者のことをよく考えて対応されていますね。開業して間もない頃の真生会はまだ2階建ての建物だけでした。あれから真生会は成長し、建物も大きくなり、患者さんも増えましたね。成長の裏には、それだけ苦労があったのだと思います。小さな努力の積み重ねで、職員が患者との信頼を築きあげていると感じます。

知でしたか？

A、20年以上前ですが、真生会が開業して間もない頃、風邪で体調を悪くして来院したことがありました。太田（雅也）先生が担当でした。とても親切にしていたので、スタッフの方々にも大変優しくしてもらったと記憶しています。

Q、今回入院なさったのはどのような経緯があったのでしょうか。

A、一昨年、いとこが肩の手術で真生会に入院し、お見舞いに来たことがありました。実は自分も右肩に痛みを感じていた頃でした。いとこから「肩の手術で有名な太田（悟）先生に診てもらっているから、お前も安心して来いよ」と言われたのを覚えています。そのときはいつの間にか良くなったのですが、昨年3月、今度は左肩に痛みを感じるようになり、自分も太田悟先生の診察を受けることになりました。太田先生から「手術し

Q、当院に対して、これから期待することはありますか？

A、現代は、政治の世界が法律を盾として周囲の病院や医療現場に介入したりして、医療経営を苦しめているのではないかと感じる場所があります。高齢化に伴う病床の不足や、患者のたらい回しなど、周囲でさまざまな理解し難い問題が発生しています。そのような現状を通して、人間の命、健康を扱う立場の病院には、患者さんと医療者の心が通う、分かり合える対応をこれからも大事にしてもらいたいですね。真生会が地域に根ざした病院となり、地域の方にも真生会を大事にしてもらいたいのですし、真生会にも地域の人々の健康を大事にしてほしいと願っています。

最後に私自身の入院体験もありますが、真生会富山病院の目線はともよく、患者さんは安心して入院生活を送っているのではないかと思います。家庭の延長とまではいきませんが、「入院して良かった、この病院に任せて良かった」と思われる病院を目指して、職員の皆さん頑張ってください。

（インタビュー…広報課 齋藤美世）



病室で看護師と話をする宮腰さん

外来受付方法のご案内

「受付機はどうやって使うの?」「保険証確認は毎月しなければならぬの?」「予約していても、受付が必要な?」という、患者さんの疑問をよく耳にします。当院の外来受付の流れをご案内いたします。

当院を初めて受診される方

(1) 総合受付に保険証をご提示のうえ、「診察申込書」をご記入ください。紹介状があれば、あわせてお出しください。

診察申込書

(2) 総合受付のスタッフが診察券、受付票、問診票、意思確認書(※18歳以上の方のみ)をファイルに入れてお渡しします。問診票と意思確認書をご記入ください。

(3) 記入後は「問診受付」にお出しください。「問診受付」は、10番の放射線科窓口です。



問診受付は、「10 放射線科」の窓口です

(4) 問診受付終了後、受診科の受付に受付票ファイルをお見せください。



受診科受付に受付票をお見せください

受診されたことがある方 (診察券をお持ちの場合)

(1) 総合受付に保険証と診察券をご提示ください。
(※混雑時は、発券機で番号札をお取りいただいております)



発券機

(2) 保険証確認後、受付機で受付をなさってください。
(※前回の保険証確認月から2ヶ月以上経過していると、受付機をご利用いただけません)



受付機

受付機の操作で不明な点は、フロアマネジャーにおたずねください。サポートいたします。

(3) 受付機から出てくる受付票(白い紙)と診察券を受付機横のファイルに入れ、受診科の受付に受付票ファイルをお見せください。



受付機横にファイルがあります

受付機から問診票が出たら

(1) 受付機で受付をされた際、受付票の前に、問診票(水色の紙)ができましたら、ファイルに挟み、「問診受付」(10放射線科の窓口)にお進みください。

受付票	問診票

受付票(白い紙)の取り忘れにご注意下さい。
受付票は必ず出ます。

(2) 問診受付で筆記用具を受け取られてから、問診票をご記入ください。

(3) 問診受付終了後、受診科の受付に受付票ファイルをお見せください。

よくある質問

Q、診察券を忘れた(なくした)場合はどうすればよいですか?

A、診察券をお忘れの場合は、総合受付で受付をいたします。次回も診察券をお忘れになると、再発行していただく場合があります。再発行には実費として100円がかかります。なくされた場合も、再発行をお願いしています。

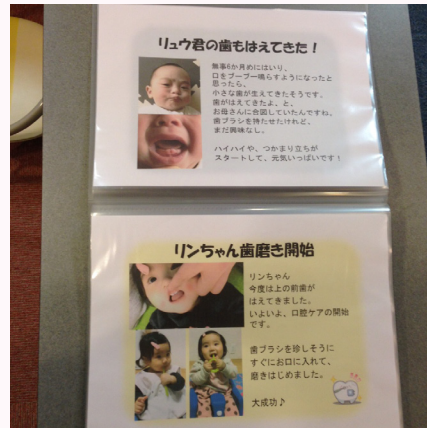
Q、保険証は毎回提示しなければならないのですか?

A、当初初めて受診される場合は、必ず保険証の確認をしております。同じ月に受診される場合、2回目以降は保険証を提示される必要はありませんが、保険証が変わったなら、その都度必ずお見せください。なお、先月に引き続いて受診される場合は、保険証確認の前に、受付機を利用することができます。

真生会デンタルクリニック

「うちの子の口の中は大丈夫かしら」、「子供の虫歯が心配」。多くのお母さん、お父さんの関心事だと思います。そんな悩みに対して、真生会デンタルクリニックでは、職員がわが子の虫歯ゼロを目指し実践している奮闘記「ハッピー歯育て通信」を作りました。小さな子どもの成長と、口・歯の発育、それに応じたケアを写真を載せて冊子にしています。かわいい写真に「癒される」という声も♪

来院の際はどうぞご覧ください。
(歯科医師 稲岡延佳)



食膳栄養科

昨年度初めて実施された「栄養経営士」の資格にチャレンジし、見事スタッフ全員が合格しました。富山県では4名の合格者のうち、3名が当院のスタッフであり、大変光栄に思います。

栄養経営士は、管理栄養士として臨床栄養のスペシャリストを目指し、栄養も含めた最善の治療方法が提案できるよう、チーム医療の一員として、患者さんをサポートします。管理栄養士の仕事には、入院患者さんの栄養管理をはじめ、入院・外来での栄養指導があります。また、糖尿病教室などでは、楽しく学んでいただけるような工夫もしています。栄養状態が悪い入院患者さんには、少しでも早く良くなれるよう、医師をはじめ、多職種と協力し、入院時早期より関わっています。

将来は、地域のみなさまに安心と満足を提供できる栄養管理のスペシャリストを目指します。働き盛りの方の健康意識を高め、元気な高齢者が活躍する地域づくりに貢献していけたらよいと思います。
(食膳栄養科 主任 宮下希世香)

PTS推進室

2月下旬、患者さんからいただいた折り紙作品と当院の生け花教室の作品を組み合わせ「お花見風」にしてみました。

(フロアマネジャー 木田真由美・高森尚子)



合格証を手に、記念撮影！
左から中島真弓管理栄養士、
宮下希世香主任(管理栄養士)、
結川美帆管理栄養士

部署の取り組みを紹介します！

グリーンハットよりお知らせ

■売店

健康に良い商品を取り揃えております。

【黒にんにく】

抜群の疲労回復効果と、優れた抗酸化作用（生にんにくの約10倍！）があります。



【有機無農薬茶葉の粉末緑茶】

貴重な無農薬茶葉を粉末にしました。緑茶の有効成分を丸ごと摂れます。



【無農薬栽培野菜】

契約農家から収穫したての新鮮な野菜が届きます。

【自然食品】

オーサワジャパン（※）などの商品を販売しております。（※オーサワジャパンは、全国の自然食品店などに最高の品質基準を守った商品を販売している会社です。）

■レストラン

おすすめメニュー

「玉ねぎたっぷり カレーライス」

当店オリジナルのカレーライスを紹介いたします。スパイシーな香味とともに、口に広がる甘味のもと、たっぷりの玉ねぎによるものです。その量は、1杯あたり約1個分（150g）。当店のカレー1食で、一日に必要なといわれる野菜の半分量をとることができます。肉は貴重な



カレーライス（サラダ付）

賞味ください。カレーのメニューは5種類ございます。

カレーライス（サラダ付）	550 円
ミニカレー（サラダ付）	400 円
カツカレー（サラダ付）	800 円
海老フライカレー（サラダ付）	800 円
オムカレー（サラダ・味噌汁付）	800 円

お米は、富山県産コシヒカリ等米を使用しています。

■オーサワジャパン

カタログ販売の取り扱い

オーサワジャパンのカタログから、希望の商品をご注文いただけます。歳暮、中元なども承ります。



グリーンハット

【レストラン 営業時間】

(月・水・金) 8:30～19:30 ラストオーダー 19:00
(火・木・土) 8:30～14:00 ラストオーダー 13:30

【売店 営業時間】

(月～金) 8:30～19:30 (土) 8:30～14:00

【定休日】 日曜日、祝日

診療案内

診療科

内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、麻酔科、心療内科、精神科、神経内科、放射線科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、緩和ケア内科、真生会デンタルクリニック（歯科）

受付・診療時間

【午前外来】平日・土曜日

受付 8:00 ～ 11:30

（各科窓口 8:30 ～ 診察 9:00 ～）

※午前のみ、7:30 ～整理券を配布

正面玄関の解錠時間は 7:30 です。

診療時間以外は、時間外出入り口をご利用ください。

【昼外来】アイセンター（眼科）のみ

受付 13:30 ～ 16:00（診察 14:00 ～）

※火曜日のみの受付です。

【夕方外来】平日

受付 16:00 ～ 19:00

（各科窓口 16:30 ～ 診察 17:00 ～）

※内科・小児科を除き、火・木の夕方は休診のため日直医が対応いたします。

※皮膚科と小児科の窓口受付は 16:15 から、診察は 16:30 から行います。

※耳鼻咽喉科は 16:40 から診察を行います。

【休診日】日曜日、祝日、土曜日午後

休診時間帯は、当番医師が待機しております。

敷地内全面禁煙を実施しています。



ご理解とご協力をお願いいたします。

一度は行きたい！

地元のお店



店内には 150 種類以上の駄菓子

創業は昭和32年。射水市三ヶの駄菓子屋さんです。昔はたくさんあった駄菓子屋さんも、だんだん少なくなってきたため、ご近所の方だけでなく富山市や砺波市、また石川県から来られたお客さんもあるそうです。お店に買いに来られる方の他、児童クラブなどから200

沖田駄菓子店

円の袋詰めを300袋作ってほしいと注文が入ることも。200円分の袋に入るお菓子の種類は、何と13〜14種類。子どもたちを喜ばせたいとの思いからたくさん種類を選んでおられます。店主の沖田さんご夫妻は、「子どもたちは、うちの店に集まってくじをしたり、お菓子を食べたりして、ここが憩いの



くじ引きが人気

アクセス

【住所】

〒933-0341

富山県射水市三ヶ 3321

【TEL】

0766-55-1259

【営業時間】

8:00 ～ 20:30

【定休日】

年中無休



店主の沖田さんご夫妻。NHKの番組で笑福亭鶴瓶さんが来店し、店先にサインが飾ってありました。

場になっていきます。これからますます育ってほしいですね」と笑顔で話しておられます。

編集後記

フレッシュセミナー（2ページに紹介）で始めは緊張の表情を浮かべていた新人職員ですが、徐々に参加者同士が打ち解け、笑顔の輪が広がっていました。「初めて」は誰でも不安なもの。初めて来院される方、久しぶりに受診される方のために、受付方法のご案内を掲載しました（8～9ページ）。これからも患者の皆様が安心して来院できる環境づくりに取り組んでまいります。

〒939-0243 富山県射水市下若 89-10

TEL 0766-52-2156 FAX 0766-52-2197

<http://www.shinseikai.jp/>

平成28年6月 第21号発行

発行・編集／真生会富山病院 広報課